



Die Eiche ティ・アイエ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft der Präfektur Chiba

Eiche

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-5 18-1 清和会第 2 ワールドナージングホーム

Tel 047-461-9111 Fax 047-461-7010

「野村陽子先生とお弟子さんを囲む音楽会」開催

「夏は来ぬ」を歌う三人の歌手



懇親会参加者一同



Die Eiche 前号でお知らせした音楽会が 6 月 23 日午後 4 時から、船橋市の中央公民館で開かれた。梅雨の合間を縫うような快晴の中、当協会会員はじめ友人・知人など 35 人が会場の同公民館視聴覚室へ詰めかけた。演奏家は、1975 年から 1988 年まで 13 年間、ベルリン・ドイツ・オペラ劇場の専属歌手として欧州などで大活躍した野村陽子先生 (当協会理事) のお弟子さん、横田綾子さん (東京音大卒、同大学院終了)、吉田和夏さん (同、同大学院終了、10 月から文化庁派遣で英国に留学)、西谷衣代さん (東京芸大、同大学院終了、二期会マスタークラス)、そして伴奏の田中健 (たけし) さん (東京音大ピアノ科卒、同大学院終了) の 4 人。まず、宗宮好和会長が開会の挨拶を行い、続いて野村先生がお弟子さんを順次紹介して演奏会開始。3 人はソプラノ歌手のトッププロを目指して野村先生の下で学んでいるが、近くそれぞれ別の途を歩むことになったため、お別れの記念リサイタルを 7 月に東京で企画していた。「ドイツリートやオペラでも言葉の意味をしっかりと理解し発音をマスターしないと、詩や音楽の真髄に迫れない」を持論とする野村先生に、当協会がドイツ・リートにおけるドイツ語のお手本をお見立てのものがきっかけで、お弟子さんたちの「本番さながらのお手本・お披露目」の形で音楽会が実現したものである。

演奏会は、歌手が自らそれぞれのプログラムをタイトル、内容 (物語)、聴いてほしい個所などを丁寧に説明して始まったが、会場の演奏環境が不十分ではないか、という当協会の心配を吹き飛ばすかのような歌手たちの熱唱に、聴衆は割れんばかりの拍手で応えた。会場が狭かったのが幸しい、演奏家と聴衆が一体となった盛り上がりを見せ、歌手達の若く豊かな声量、高い将来性を窺わせる音楽性に会場からため息さえもれた。アンコールに、3 人がリードする懐かしい唱歌「夏は来ぬ」に、会場が続いた。終了後、演奏家を含む 26 人が近くのレストラン「今日和」で開いた懇親会では、3 人の歌手や田中さん、野村先生はテーブルのあちこちから引っ張りだこでドイツやイタリアオペラのアリアからリートなどの話題で盛り上がり、演奏会の余韻が続いた。(理事 田中正延)

全国日独協会連合会総会、創立 25 周年記念式典、記念講演会開催 (於札幌京王プラザホテル)

今年の連合会総会は、北海道日独協会が主管協会となり、6 月 7 日 (金) 午後から総会が 29 協会、北海道日独協会の多数の参加、ドイツ系 4 団体代表の特別参加により約 90 名で開催されました。総会は鈴木重統北海道日独協会会長の歓迎の言葉、上田文雄札幌市長の挨拶、木村敬三連合会会長代行がハノーヴァーの独日協会連合会に於けるヴルフ前北大統領講演の報告 (今後日独が協力して当たるべき 6 項目の課題を取り上げて、両国が欧亜の架け橋となるべく努力したいと述べたこと) を行い、議事に入った。(決議事項) では、イ. 松江日独協会の新規加盟と沖縄日独協会の解散による退会承認。ロ. 連合会副会長の仙台日独協会会長の 2 年任期満了に伴う、再任承認。なお、この度同協会の大和田会長は藤田宙靖 (ときやす) 会長と交代された。ハ. 連合会年会費は、48 協会が 90 万円を納め、5 月末までの支出を差し引いて 211,383 円の残高となり、宗宮連合会監事による監査報告が行われた。なお、年会費未納の協会は、「登録会員」として、総会における議決権は「なし」として、連合会ニューズレターの配信のみとなった。二. 連合会規約改正と連合会旅費規則制定は、○規約第 5 条に、「年会費を納付しない協会は「登録会員」とし、連合会ニューズレターの配信は行わないもの、総会における議決権はないものとする。」を付け加える事となった。又、○「全国日独協会連合会旅費規則」を制定して、連合会役職員の業務遂行に関わる旅費など諸経費負担に付き規定。(裏へ)

「夏の夕べのコンサート」開催

～マゼランブルーの風と共に～

前ページでお知らせした、野村先生門下生 3 人による本番「夏の夕べのコンサート」が 7 月 12 日 (金) に豊島区雑司が谷音楽堂で 18:30 より開催された。当日は日独協会会員初め出演者の関係者らで会場はほぼ満席状態となった。6 月 23 日の時と同様に、3 人の出演者は歌う前に曲の紹介をされたのが聴衆にとっては新鮮で分かり易かったとの感想が寄せられた。

以下は野村陽子先生の感想です。

「7 月 12 日のコンサートの当日は正に 3 人が自らこのタイトルをつけた「マゼランブルーの風」の様な素晴らしい活気溢れるコンサートでした。

これは、その前の 6 月 23 日に千葉県日独協会の企画による船橋中央公民館でのコンサートでお客様に喜んでいただいたことで、出演者 3 人共に気を良くしていたのが一因であったと思います。実は、船橋でのコンサートの後、私、3 人のソプラノ歌手、ピアノの田中健さんが一体となり、自ら曲目を盛り立て、我々に納得出来るプログラムになるように考えておりました。これらの準備に加えて、当日は沢山のお客様にも恵まれて、出演者全員、それまでの練習の成果を十二分に発揮出来、私も嬉しきで一杯でございました。これから更にも目指す 3 人には、大いに励みに心なりました事、間違いありません。会員の皆様には心より感謝申し上げます。有難うございました。」



左から田中、横田、野村先生、吉田、西谷の各氏
(前ページより)

次に (報告事項) に移り、現、「日独若者交流促進資金」の使用状況は、3 月末現在で約 496 万円の残高があり利用申請が促された。チ、2014 年「日独パートナー会議」へのデレゲーション日程案が示されたが、単なる観光ではなく「ドイツに学ぶ」を目的に、環境問題、エネルギー問題などに関係する施設を訪問するものになる予定とのこと。総会終了後、連合会創立 25 周年祝賀会が開催されて、シュタンツェル大使、高橋はるみ北海道知事、高島英也サッポロビール北海道本社代表、ドイツ系 4 団体代表の祝辞で盛り上がった。翌日は、大ホールにおいて連合会創立 25 周年記念式典、記念講演会「若き日のゲーテとワイマール」(講師:小塩節先生)が開催され会場は 200 名を超える聴衆で大盛況であった。

(専務理事 金谷 誠一郎)

—今後の主な催し物案内—

1. 第 16 回ボトルシップ研究会

- ・日時: 8 月 13 日 (土) 15:30~17:30
- ・場所: 船橋市中央公民館 第 5 集会室
- ・問合せは宗宮会長へ。(048-976-8253)
- 又はメール (fq8y-sumy@asahi-net.or.jp)

2. ビール祭り

ドイツビールを飲みドイツ料理を食べ楽しい・愉快なひと時を過ごしませんか。

- ・日時: 8 月 24 日 (土) 3時~5時
- ・会場: ドイツビアレストラン「カイザーホフ」
千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル B・1
電話: 03-5224-6028
- ・会費: 4000 円 (2 時間飲み放題)
- ・ビールはミュンヘンのホフブロイハウスから取り寄せたラガービールの他、ヴァイスビア、ドUNKELビアなど珍しいビールも飲めます。またドイツワイン、カクテル、ソフトドリンクも用意されています。
- ・アクセス
JR 有楽町駅・国際フォーラム口から徒歩 5 分 (250 メーター)。国際フォーラムの向かい側のビル・地下 1 階 (当日「有楽町駅・国際フォーラム口」に当協会役員がお待ちしています)
- ・出欠のご連絡
同封のハガキにて 8 月 15 日までに回答ください
出席回答後 8 月 20 日以降に欠席となった場合も会費 4,000 円は申し受けず。・レストランへキャンセル料として支払い。

(連絡先: 小野寺輝孝 047-483-5692)

メールアドレス t.c.onodera@ac.auone-net.jp)

(会員の活動)

1. 会員加藤和子氏「壽女(ひさじょ)の会」(日本舞踊)

日時: 8 月 4 日 (日) 10:30~

加藤氏出演は 18:00 頃とのことです。

場所: 千葉市美浜文化ホール

(京葉線 検見川浜下車徒歩 5 分)

入場料: 無料

2. 会員伊賀美哲氏が指揮する演奏会

千葉混声合唱団 第 45 定期演奏会

「G. F. Händel メサイア全曲」

日時: 8 月 25 日 (日) 14:00 開演
13:30 開場

場所: 京葉銀行文化プラザ音楽ホール

(JR 千葉駅東口より徒歩 3 分)

入場料 (全席自由) 2,000 円

お問い合わせ: 090-9327-7609 (椎名)

090-5500-9216 (杉山)